



吹奏楽部2・3年生11人が音楽隊と協演

いさわ 地域への防犯伝える演奏会 南都田防犯ふれあいコンサート

県警察音楽隊を招いた南都田防犯ふれあいコンサート（南都田地区防犯協会主催）が6月27日、南都田中学校で開催されました。この日は、小中学生や地域住民など約360人が参加。素晴らしい演奏に加え同校吹奏楽部との合同演奏も行われ、会場は手拍子で一体となりました。演奏の合間には、スマートフォンの注意点についての寸劇も披露され、生徒会長の高橋優斗さん（3年）は「良い経験になった。これを機会に防犯意識を高めていきたい」とお礼の言葉を述べました。

えさし 神楽の里に伝統の舞が集う 第30回江刺神楽大会

第30回江刺神楽大会（同実行委員会主催）が6月22日、江刺区の稲瀬体育センターで開催されました。ことは節目の大会を記念し、県無形民俗文化財の土沢神楽（晴山潔代表＝花巻市＝）を招待。土沢神楽唯一の弟子、地元稲瀬地区の佐野向神楽（菊池哲代表）の「鳥舞」を皮切りに、8団体が伝統の舞を披露しました。同実行委員会の上野晋尉会長は「神楽の魅力を皆さんに知ってもらい、40回、50回と大会を続けていきたい」と未来への思いを語りました。



いざなぎ、いざなみ二神の舞とされる「鳥舞」



手遊びを楽しむ高齢者と園児たち

まえさわ 歌や踊りに笑顔があふれる 第11回まえさわ介護センター世代間交流会

在宅介護施設まえさわ介護センター（佐々木裕所長）を会場に、6月18日から24日までの5日間の日程で世代間交流会が行われました。この催しは、同施設を利用する高齢者を元気付けようと毎年実施。市立前沢保育所あおぞら園と私立前沢保育園の園児が高齢者との交流を行っているものです。

18日は同あおぞら園の5歳児27人が同施設を訪問。歌や合奏、踊りを披露したほか、施設利用者と共に手遊びをした後、肩たたきをして交流を深めました。



みんなで協力しながら花苗を植えました

こもがわ 思いやりと感謝の心を育む 人権の花運動

市や法務局などが構成する一関・水沢人権啓発活動地域ネットワーク協議会は6月11日、衣里小学校で人権の花運動を行いました。これは、児童が協力して花を育成することで思いやりの心を学び、人権思想を育むことを目的にしているものです。

この日は、同校の1～4年生の児童が参加。サルビアなど約200本の花苗を植えました。同校4年の鈴木吉乃さん（9）は「きれいな花が咲くように、みんなと協力してお世話をします」と笑顔を見せました。

みずさわ 咲き誇るあやめと優美な光 第19回胆沢城あやめ祭り



苑内のあやめと夢あかりの灯を楽しむ来場者

胆沢城あやめ祭り（高橋福治実行委員会会長）が6月28日と29日の両日、史跡胆沢城跡地内のあやめ苑で開催されました。

ことしで19回目を迎えたこの祭りは、同苑に植栽された約3万株のアヤメやハナショウブを鑑賞しながら鎮守府・胆沢城の風情を体感してもらおうと、アヤメの見ごろを迎えるこの時期に毎年開催されているもの。

期間中、アヤメのライトアップや胆沢城跡散策、振る舞い餅など多彩なイベントが繰り広げられ、約4,000人が満開のアヤメを鑑賞しに訪れました。

29日には、厄除け・開運「かわらけ」投げ大会が行われ、真っすぐ投げることが難しいかわらけを、参加者たちは真剣なまなざしで、的目がけて投げました。

まえさわ きびきびと心地よい汗を！ ラジオ体操講習会

市教育委員会は6月18日、前沢小学校（佐藤範久校長、児童716人）の体育館でラジオ体操講習会を行いました。NHKラジオ体操でおなじみの多胡肇さんのほか、北上市出身でアシスタントを務める五日市祐子さんを講師に迎え、指導を受けました。

この日は、4～6年生とその保護者など約100人が参加。ユーモアを交えた多胡さんの指導の下、ラジオ体操の正しい動きと、体を動かすポイントを学び、参加者は楽しみながら気持ちの良い汗を流しました。



一つ一つの動きを丁寧に確認する多胡さん（右）と児童たち



温かい空気が入った気球に触れ、浮かぶ仕組みを学びました

いさわ 高く飛べ！私たちの熱気球 奥州いさわ「宇宙の学校」

奥州いさわ「宇宙の学校」（胆沢区教育振興運動実践協議会主催）が6月21日、胆沢文化創造センターを会場に行われました。

この日は約40人の親子連れが熱気球作りに挑戦。4枚のポリ袋を貼り合わせ、思い思いの絵を描いて作った気球が浮かび上がると、子どもたちからは大きな歓声が沸き上がりました。姉妹で参加した中澤美智さん（胆沢第一小3年）、美賀さん（同1年）は「不思議、面白かった」と目を輝かせていました。